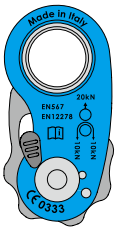
PDF版
(2014-12-29)

climbing technology

# ROLLNLOCK
クライミングテクノロジー
# ロールンロック
取扱説明書

MADE IN ITALY
EN12278:2007
EN567:1997
CE0333




**クライミングテクノロジー**
**ロールンロック取扱説明書**

**製造元:**イタリア・アルデザイン社
（商標名:クライミング・テクノロジー）
**輸入販売元:**イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605
**イタリア製**
**商品名:**ロールンロック（ロープクランプ、プーリー）
**素材:**アルミニウム合金／重量:80g

**はじめにお読みください**

**登山、クライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。クライミング用品を使用しても登山、クライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用の前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、登山、クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。**

**この取扱説明書はご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。最新の情報や、その他の補足情報、及びその他の言語での取扱説明は、www.climbingtechnology.comにて確認してください。**

⚠ **警告** 本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

⚠ **警告** このロールンロックは、プーリー、ロープクランプであり、クライミング用のビレイデバイスではありません。クライマーの墜落に耐えうる強度はありませんのでビレイデバイスとしては使用しないでください。

**表示内容**

⚠ **危険**:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。
⚠ **警告**:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**:人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。
⊘ **禁止**:やってはいけないことを表しています。

**本製品(ロールンロック)ご使用に際しての注意事項<必ずお読みください>**

この注意書は、ロールンロックを登山、クライミングでの引き上げ等において正しく使用するための注意事項が書かれています。誤った使用方法、不適切な使用方法は、死亡または重傷を負う恐れがあります。この器具を使用する人は、使用方法を習熟しておく必要があります。使用者は使用方法(器具の使用方法および安全確保に関しての正しい措置)についての充分な習得が必要です。多くの誤った使用方法がありますが、この説明書にはその誤った使用方法を一部のみ図解しています。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用方法は禁止いたします。使用者は登山、クライミング、岩登り等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用方法を習得しない、またはリスクを認識しない人、クライミング全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用方法や不適切な使用方法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

本取扱説明書は、登山、クライミング用品の正しい使用方法などについて説明を行うものです。
登山、アルパインクライミング、クライミングに関する専門的用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まずクライミング講習等を受講してください。またクライミングには安全を確保する

ための正しいロープワークが必要です。これらが行えない場合は危険ですのでクライミングを行わないでください。また、クライミングは、クライミングについての知識や技能、およびその安全確保について十分な知識を持ったパートナーと一緒に行ってください。

本製品は、クライミング用のオーバル型カラビナ（Xタイプ）と組み合わせてご使用ください。また、使用するロープ、ハーネス等は用途にあった強度の高いものをご利用ください。

> ⚠ **注意** 説明書は見やすさを優先しており、素手で表記してあります。実際の使用に際してはクライミングのビレイ用手袋等を使用し、手を保護してください。

**商品の定義**

本製品は、ヨーロピアンノーム（欧州基準）で規定されたEN 567:1997／登山用品・ロープクランプ、EN 12278:2007／登山用品・プーリーです。

**使用できるロープ**：ロープはEN 1891のスタティックロープ（コア部と外皮部の構造）、またはセミスタティックロープ、もしくはEN 892のクライミング用のダイナミックロープをお使いください。スタティックロープは伸びがないため、クライミング用ではありませんのでご注意ください。使用できるロープ径は、8～13mmです。例外的な使用方法においてスリングテープを使用するときはテープ幅は10～16mmのものをお使いください。

> ⚠ **警告** 本製品は墜落の衝撃には耐えられません。クライミングのビレイ器具としては使用しないでください。

**本文取扱説明書の表示内容**

| ロープを引く手 | 引き上げられる人や荷物 | アンカー | ハーネス |
|---|---|---|---|
| | | | |

> ⚠ **注意** 登山、クライミングの前または最中には、アルコール、向精神薬、その他、知覚・認知、バランス感覚、集中力に悪影響を与える食品や薬品等の摂取を行わないでください。

図１　他の用具との適合性について

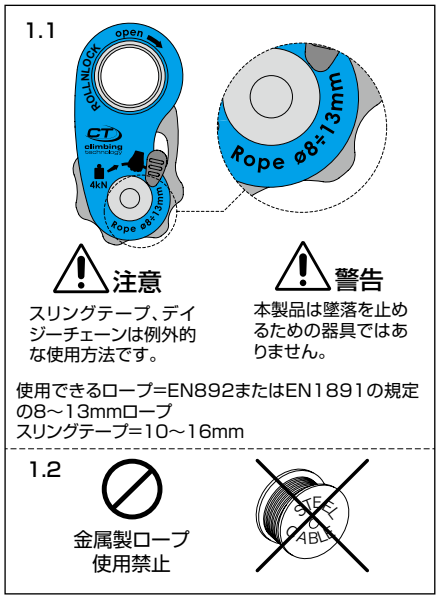
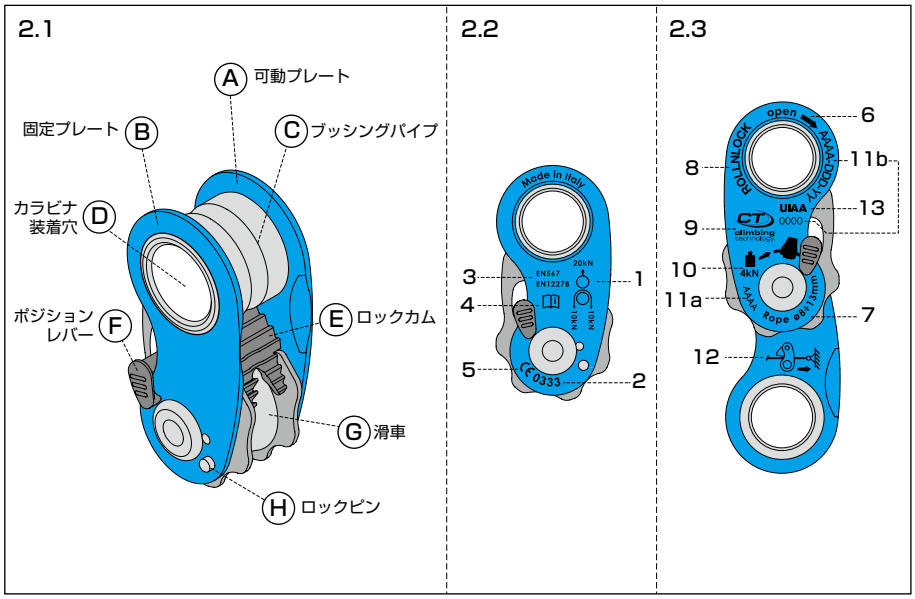


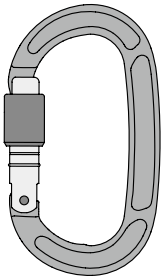

図２　各部の名称




**使用方法・手順**

**1.各部の名称（図2.1）と表示**

本体の表示（**図2.2、図2.3**）～商品によって**11a**または**11b**のどちらかの表示となります。



**〔別売品〕**

ロールンロックは必ずオーバル型のロッキングカラビナ（クライミング用）と合わせてご使用ください。

**1.**シンプルプーリーモードにした時の最大運用荷重の値をkN(キロニュートン)で表示。これはプーリーの滑車部からカラビナ装着穴までの強度です。　**2.**CEのマークにつづく番号0333はヨーロッパの規格に沿って製造が行われているかの認証を行っている第三者機関をあらわす数字です。　**3.**ヨーロッパ連合の規格の番号を表しており、EN 567はロープクランプ、EN 12278はプーリーを表しています。　**4.**使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図(本の形をしたイラスト)　**5.**CEマーク　**6.**可動プレートを開ける方向　**7.**使用できるロープの太さ(÷は「〜」を意味します。)　**8.**商品名　**9.**製造社名または商標名　**10.**ロックモードやホーリングプーリーモードにした時の最大負荷荷重の値がkN(キロニュートン)で表示(これはプーリーの滑車部からカラビナ装着穴までの強度です)。**11a.**製造バッチ番号と製造年月　**11b.**AAAA-DDD-YYの形式で最初の4桁が商品ごとの番号、次の3桁は製造日を(1月1日から数えて何日目か)、最後の2桁は西暦年を下2桁で表示、および製造バッチ番号　**12.**アッセンダーモードでの正しい器具とロープの向き　**13.**UIAAロゴまたはUIAAの文字　以上の表示はいつでも読めるか確認してください。

⚠ **注意**　製品の表示がはっきりと見えること確認してください。

**2.使用前点検**:実際に使用する前に、本製品および一緒に使用されるすべての用具が最善の状態であることを確認してください。磨耗がひどかったり、ひび割れが見られたり、亀裂が入っていたり、ささくれているような場合は使用を中止してください。また滑車がスムーズに動くかを確認してください。また、ロープをロックするためのロックカム部は、スプリングが利いて動かしたらすぐに元の位置に戻るかを確認してください。またロックカムの歯が磨り減っていないか確認してください。ブッシングパイプに装着するオーバル型のロッキングカラビナが本製品を吊り下げたときにまっすぐに下がり(**図10.3**〜**10.5**)、本体が傾いて固定されないこと、ロック機構が正常に働くことを確認してください(**図10.6**〜**10.8**は悪い例を示しています)。砂や泥などが付着していないか確認してください。使用するロープについては、磨耗、融解したあと、切れ、糸飛びがないか必ず確認して異常のないものを使用してください。

⚠ **注意**　もし何か器具に異常を見つけたり疑問に感じることがあったら使用を中止してください。

**適合性について**:この器具とあわせて使用するクライミング用品について、正しく機能させられるかどうか検証を行ってください。
**ロープ**:EN892またはEN1891のロープ=直径8〜13mmを使用してください。ロープの太さや種類によりすべりがあり、使用に影響を与えます。また真新しいもの、表面加工の種類や程度、ウェット(防水)ロープ、濡れたり凍ったりした場合によりすべる程度は変わります。
**オーバル型ロッキングカラビナをご使用ください**:EN12275(登山用カラビナ)のオーバル型(タイプX)のロッキングカラビナをご使用ください。使用者は、カラビナの使用方法を正しく理解してください。

⚠ **警告**　どのような使用履歴があるかわからないクライミング器具や取扱説明書のない器具は使用してはいけません。

**ご使用に際してのご注意**:本製品ご使用の際は必ず正しくロープが装着されているかご確認ください。プーリーとロープは斜めになったり、傾いて作動しないようにしてください。また、使用中に本製品が硬いものと接触したり、こすれたりしないようにしてください。湿ったり、濡れたりしたロープ、凍ったロープ、汚れたロープはそのロープのロックの具合を確かめ、ロックの利きが悪いときは本製品を使用しないでください。また、その他本製品の正常な動作を妨げるものがないか確認を行ってください。本製品と一緒に使う器具(オーバル型ロッキングカラビナ、ロープ、他)は正しく作動するか、正しい位置にセットできているかを確認してください。カラビナは特にロックするか、ゲート部に異常がないかを入念に確認してください。本製品はクライマーの墜落を保護するビレイ器具ではありませんので、使用中にはロープにテンションを張り、ロープに落下衝撃が加わらないようにしてください。また、アンカーから引き上げられる人のハーネスまでのロープについてもたるみが生じないようにしてご利用ください。

⚠ **注意**　説明書は見やすさを優先しており、素手で表記してあります。実際の使用に際しては使用する方はクライミングのビレイ用手袋等を使用し、手を保護してください。

### 3.使用手順

本製品は、器具のセット方法により異なる用途に使用することができます。

－ロック(ロープクランプ)モード:ロープで上に上がるためのモードです(**図3**、**4**)。アッセンダーとして使用できます。

－ホーリングプーリーモード:荷物の引き上げや、要救助者を引き上げるモードです(**図5**、**6**、**9**)。

－シンプルプーリーモード:両側からロープが引くことができるモードです(**図7**)。

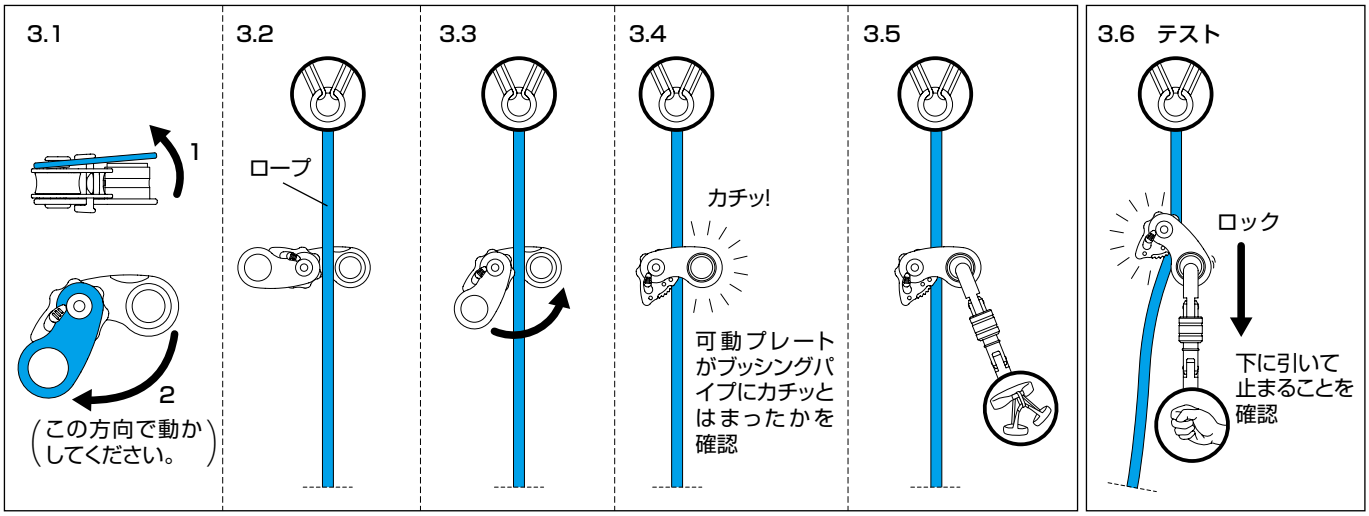
この製品は、通常人間が一緒にいて使用できる環境下での使用を前提としています。使用する方の安全のため、高いところからの墜落を防止するために、器具が正しくセットされているか、アンカーとの接続が正しいか、また、アンカーの強度が十分であるか入念に検証を行ってください。使用者は必ずアンカーより低い位置で本製品を使用してください。適切なロープをご利用ください。金属製のロープの使用は厳禁です。

### 3.1　ロックモード(アッセンダー)

**セット**:可動プレートを持ち上げ、180度回転させてください(**図3.1**)。器具のロッキングカムがロープを固定するような位置にセットするため、器具の向きを**図3.2**のようにしてロープにセットします。本体を元に戻します(**図3.3**、**3.4**)。

> ⚠ **注意**　可動プレートがカラビナ装着穴の部分に戻ってカチッとはまり、ブッシングパイプを正しく保持しているか確認してください(**図3.4**)。

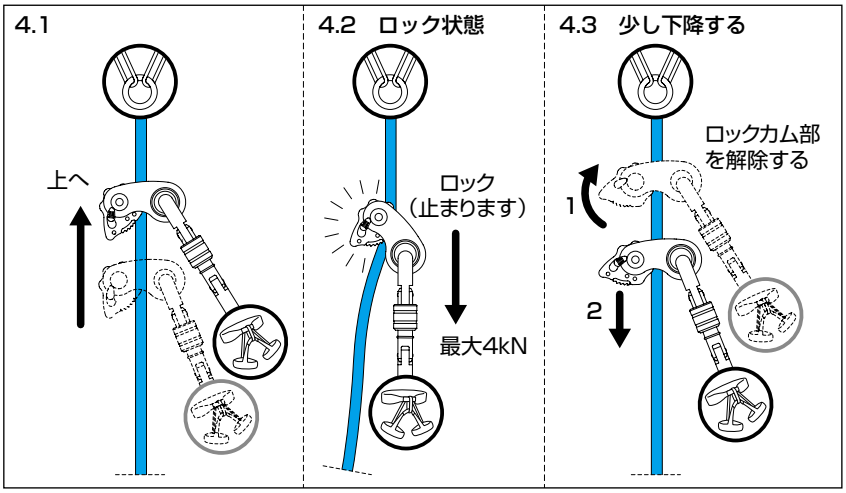
**図3　ロックモードのセット**




オーバル型のロッキングカラビナを器具のカラビナ装着穴に掛け、正しくロックがかかっているか確認します(**図3.6**)。問題なければハーネス側に接続してください(**図3.5**)。ロープから器具を外すにはカラビナを外してから**手順3.4～3.1**の順で行います。

**ロックモードを使用する**:このモードではロープ上方に向かっては自由に動かすことができ、下方向にはロックカムの効果でロックがかかります。ロープを伝って登っていくには、**図4.1**のように器具を上に持ち上げるようにします。下側にはロックカムが効いて下がらない仕組みです。実際の使用前に自分の体重をかけてもロックカムで器具が動かないことを確認してください。テンションのかかっている状況ではロックカムはロープを噛むようにしてロックを掛けています。**図4.2**のように下に力をかけるとロックしますので、この要領で器具をアッセンダーの様にして使い、ロープを伝って登ることができます。アンカーに近づくときには器具を取り外せなくならない距離まででご使用ください。

**図4　ロックモードの使用**



**短い距離を下降する方法(図4.3)**:(1)器具から体重、力を抜きます (2)ロックカムを引いてロープに噛んでいた部分を解除します (3)器具を下げ、ロックカムをロープに噛ませてロックさせます(**図4.3**)。

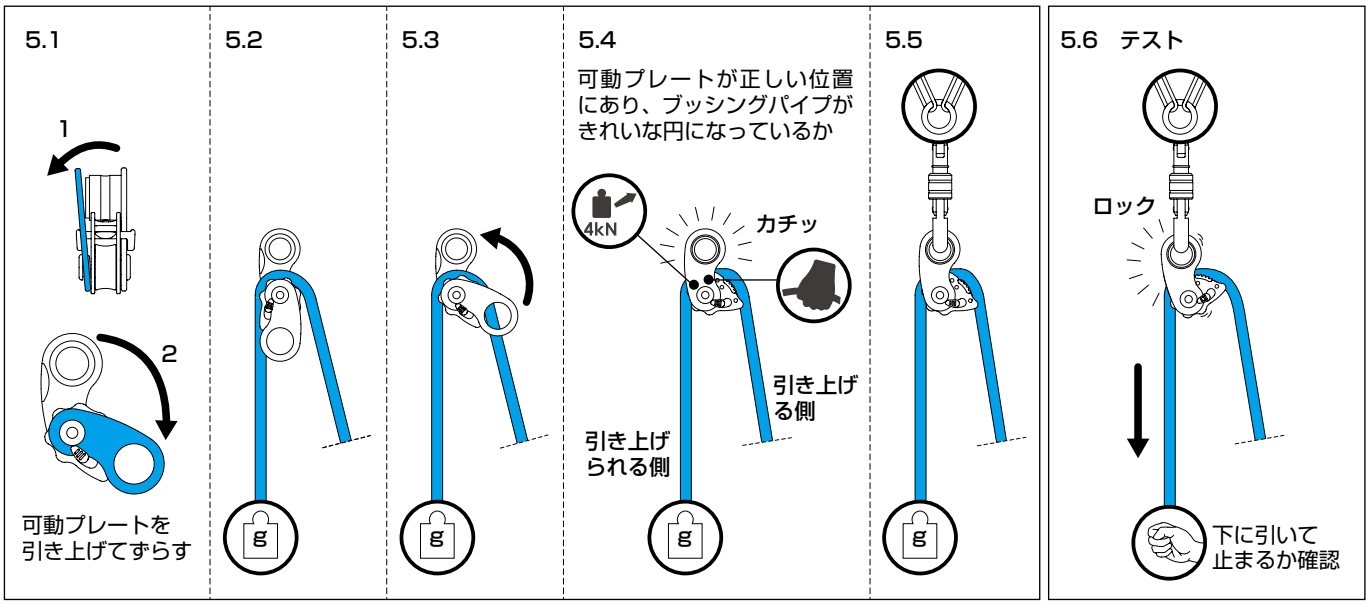
> ⚠ **警告** 本モードで使用する際は、使用者の体の位置は、器具より下にくるようにしてください(**図10-1**)。器具より上に体があると(**図10.2**)、万が一の墜落の際に過度な荷重が掛かり、器具やロープを破損し、使用者が重傷または死亡することがあります。

> ⚠ **警告** 安全のため、垂直に垂れるロープを登るような際は、本製品に加え、使用者のハーネスに接続された別のバックアップ器具やロープクランプを使用してください。なお、本来この製品は下降の用途には適していません。

### 3.2 ホーリングプーリーモード

このモードでは、荷物や要救助者の引き上げを行うことができます。セットするには**図3.1**の方法で可動プレートを開きロープをセットし、可動プレートを閉じます(**図5.1～5.4**)。カラビナ装着穴にオーバル型ロッキングカラビナを掛け、アンカーに接続します(**図5.5**)。片一方のロープが手で引く方、別の側が引き上げられる方のロープです。セットしたら、**図5.6**の様に器具が正しくセットされたか引き上げられる方のロープを引っ張ってみてロックがかかっているかテストを行ってください。

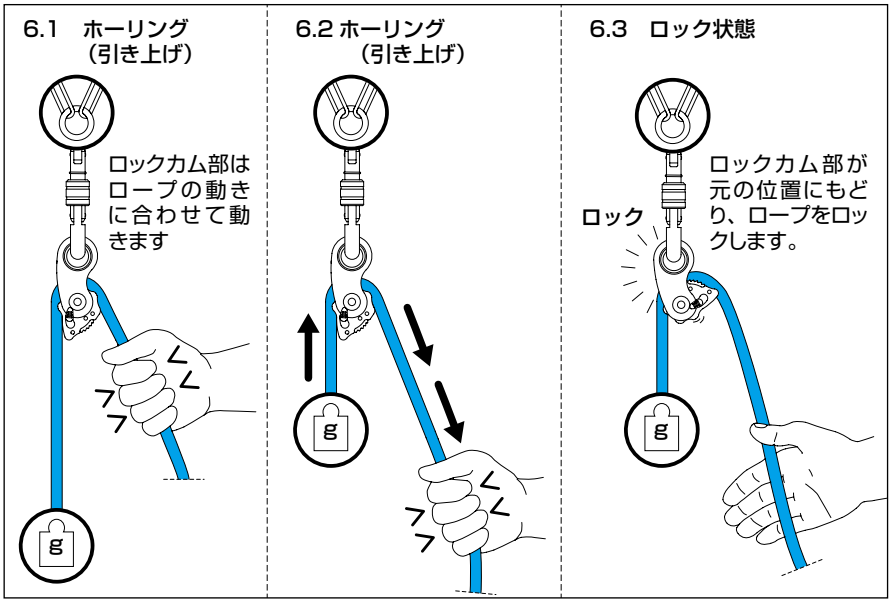
図5 ホーリングプーリーモードのセット




**ホーリングプーリーモードを使用して引き上げを行う**:

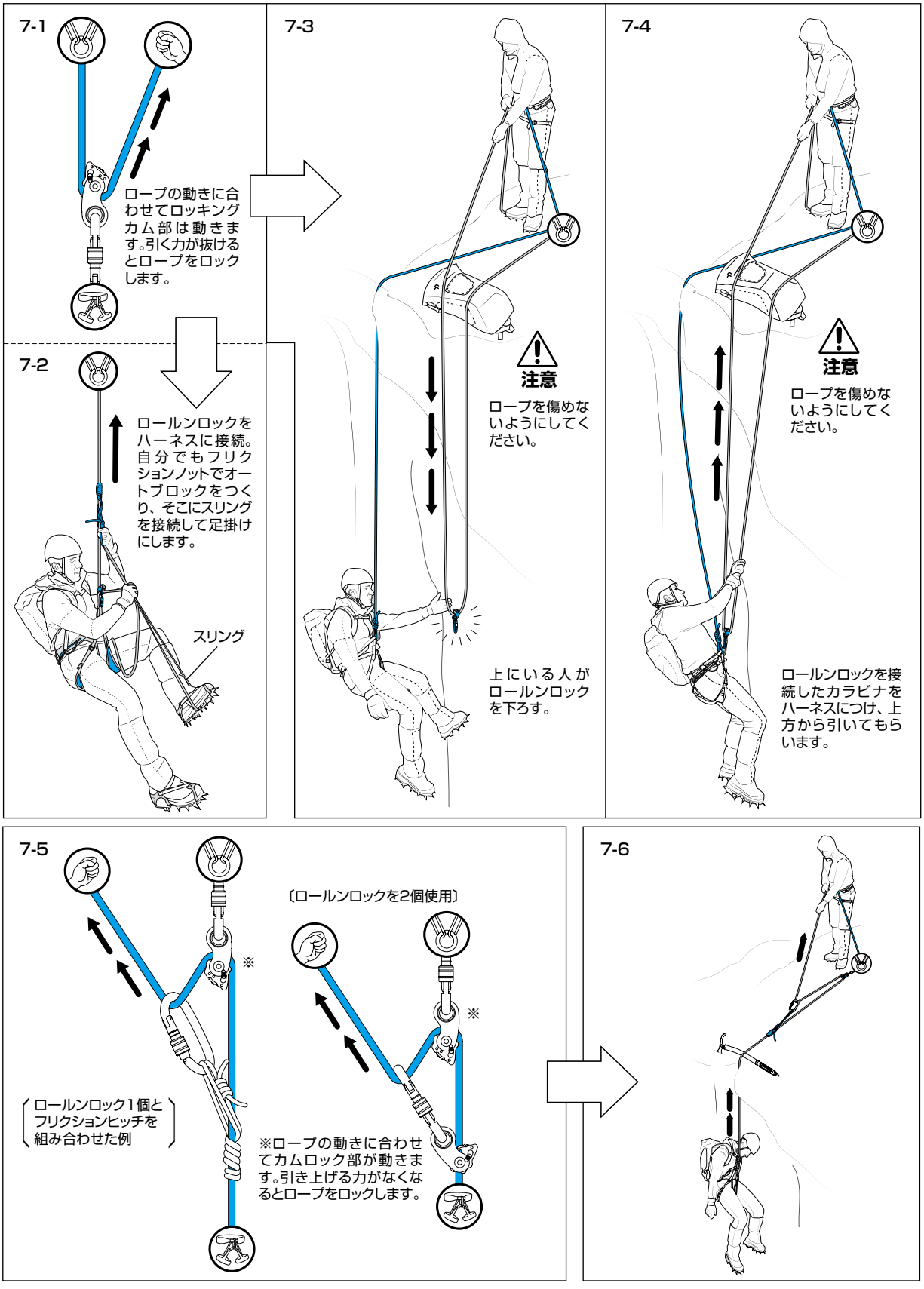
アンカーに接続して行うこのモードでは、片側にしかロープは引くことができません(**図6.1～6.2**)。反対側にはロックカムの効果でロックがかかり、ロープは動きません(**図6.3**)。本製品により引き上げシステムを構築することができます。

図6 ホーリングプーリーモードの使用



イラストではホーリングプーリーモードのいくつかの使用例を示しています。
**図7.2**＝下にいる人が自助でロープを登り返すような場合。
**図7.3～7.4**＝クレバスに落ちて下にいる人（意識があって動ける人）を助けるために器具自体を下ろし、下にいる人のハーネスに接続。上にいる人がロープを引いて引き上げる方法。
**図7.5～7.6**＝下にいる人が動けず、上にいる人の力で引き上げる場合。この場合、状況に応じて本製品を二つ使うかオートブロックを併用し、引き上げの荷重を減らすシステム（1/3システムなど）を構築して安全に引き上げてください。

**図7　ホーリングプーリーモードの使用**

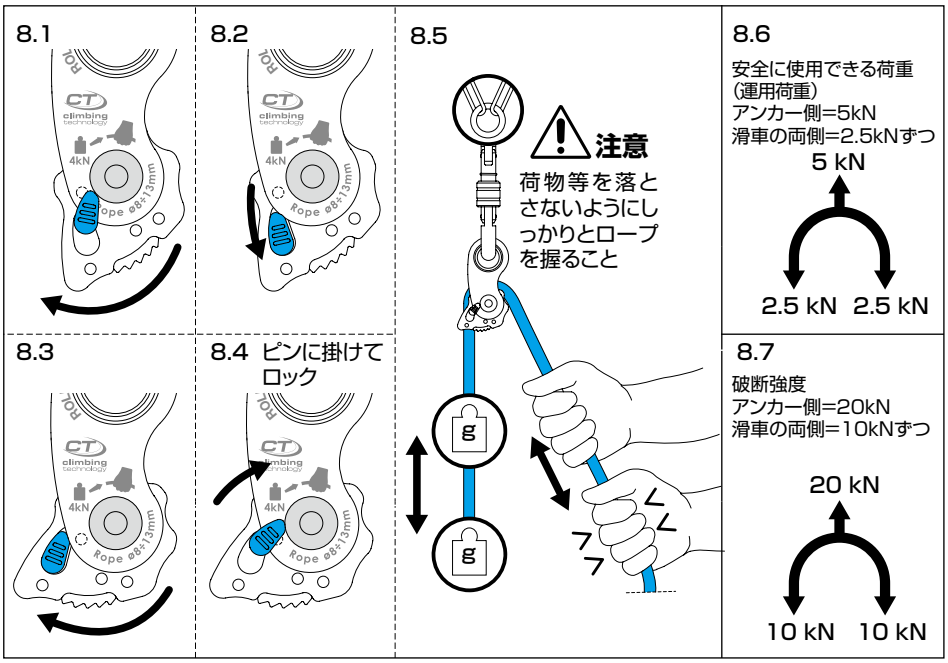


### 3.3　シンプルプーリーモード

本製品をホーリングプーリーモードから単純なプーリーモードに切り替えて使用するには、ロッキングカム部を手で動かし、本体のポジションレバーをずらして本体Hのロックピンのところに引っ掛けるようにしてロックさせます（**図8.1～8.4**）。

> ⚠ **注意**　このモードでは器具はロープをロックしませんので、必ず安全を確保し、ロープを両手で握ってください。

図7　シンプルプーリーモード




シンプルプーリーモードからホーリングプーリーモードに戻すためには、本体Ⓗのロックピンに引っ掛けてロックしたポジションレバーをずらして解除します。

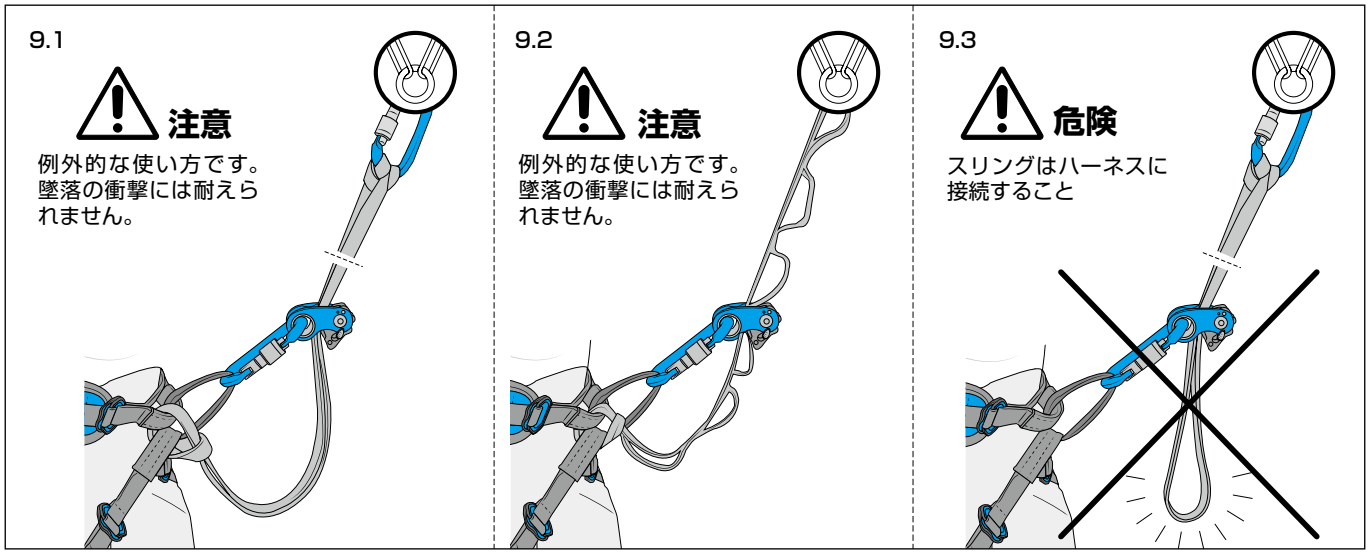
**シンプルプーリーモードを使用する**：ロッキングカムは完全に解除されていますので、ロープはロックしません。ロープは滑車部を通り、スムーズに動きます。使用前に正しく動くか確認を行ってください。

### 3.4　スリング等の長さ調整

ロールンロックは補助的な使い方として、ハーネスに正しく接続されたスリングの長さ調整（**図9.1**）やデイジーチェーンの長さ調節（**図9.2**）を行うことができます。

> ⚠ **注意**　・スリングテープを使用するときは、ハーネスにガースノット（ひばり結び）で接続し、反対側もカラビナに結び目を作って接続してください。こうすることでカラビナとスリングがずれたり滑ったりした時の安全を確保します。
> ・使用できるスリングテープ等の幅は10～16mmです。

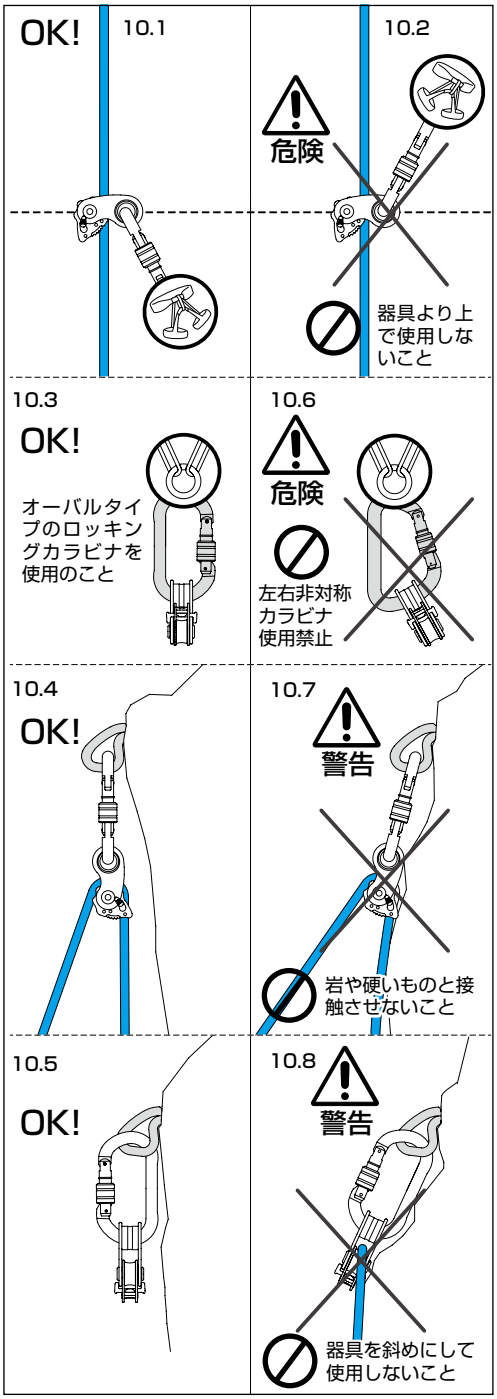
図9　スリングの長さ調整



**4.その他一般注意事項**

**メンテナンス**：本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合は廃棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかい布で拭き取り、よく乾燥させてください。海岸付近で使用した際には塩分を良く落とすことが必要です。ロープにダメージを与えないよう、器具の表面は常にバリ、傷、砂等の付着がないことを確認してください。本製品に改造を加えないでください。改造は本製品の本来の機能を損ないます。使用するロープに、切れ、織り糸の緩み、融解の跡、その他の痛みがないか確認をおこなってください。使用前点検に加え、1年に1回(海の近くで使用された場合はさらに高い頻度で)は詳細な点検を行う必要があります。なお、この点検頻度は使用状況によって変わります。なるべく使用開始から1年での買い替えをお勧めします。異常が見つかった器具は使用を中止し、廃棄してください。強い衝撃を受けた場合、墜落した物や人の衝撃を受け止めた場合は、器具の見た目に影響がなくても器具を買い換えてください。
汚れた場合は中性洗剤を使用して洗い、きれいな真水でよくすすぎ、水分をやわらかい布等で拭き、直射日光や熱源を避けてよく乾燥させてください。

図10　警告




**5.保管と持ち運び**：傷つき防止のため、他のものと分けて保管･運搬してください。保管の際は汚れを落とし、よく乾燥させた後、冷暗所で行ってください。高温になるところ、化学薬品、腐食性の物質等に触れる恐れのあるところには絶対に保管しないでください。本製品にダメージを与えるような他の鋭利なもの、硬いものと一緒に保管、運搬しないでください。濡れたまま保管しないでください。塩分を含んだ空気に触れないようご注意ください。その他器具を傷めないよう運搬には細心の注意を払ってください。特に夏季の車内は高温になりますので、車の中に放置しないでください。直射日光にあたる場所には保管しないでください。

**6.製品寿命**：製品寿命は使用の頻度や使用方法、保管状況によって異なります。また、大きな衝撃を受けた場合、使用時の気候等、その他多くの要因によって変わります。適切なお手入れと保管と運搬は製品を長持ちさせます。製造から10年経った製品は、ダメージがなく劣化していないように見えても買い換えるようにしてください。また、クライミング技術は常に新しい理論と実技が適用されます。クライマー、ビレイヤー等、本製品の使用者は安全確保に対し常に新しい情報を入手し、正しく安全な方法で登山、クライミングを行ってください。本製品の使用者は、使用前、使用中、使用後には必ず本製品、また本製品と一緒に使用するクライミング用品が正常に機能することを確認してください。また毎年最低1回(頻繁に使用した場合、過酷な状況下で使用した場合はさらに短い期間において)は、クライミングインストラクター等の有資格者から、本製品の使用方法が適切か、器具が正常に機能し、安全を確保できる状態にあるかのアドバイスをもらい、確認を行ってください。なにか製品に不具合が生じていると思われる場合は、本製品を廃棄し、新しいものに買い換えてください。

**7.保証について**：本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
**次の場合、保証は有効ではありません**：1.お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障･損傷 2.通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化 3.不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障･損傷 4.改造、不当な修理による故障･損傷 5.火災･地震、水害、その他天災事故による故障･損傷 6.または前述の事項に準じたその他の要因によるもの

保証期間後の修理･点検等についても本書をご提示ください。

本取扱説明書には著作権があります。ご自分の予備としてのほかはイワタニ･プリムス株式会社の許可なしに複製、公開することはできません。

**ロールンロック取扱説明書**
**発行日　2014年11月20日**
**発行者　イワタニ･プリムス株式会社**
**東京都中央区八丁堀4-12-20**
**電話03-3555-5605**
R01